

物価高の子育て世帯への影響は大きく、本の購入を控える傾向に

世帯区分	生活が苦しい
全世帯	55.4%
児童のいる世帯	61.5%

※R7 国民生活基礎調査（厚生労働省）

支出項目	増減率 (前年比)
教育費	+6.8%
書籍等	△5.4%

※R7 家計調査報告（総務省）

事業内容

支給対象者	令和8年10月1日時点で市内に 在住している小中学生
対象人数	2,300人（見込）
支給額	5,000円分の図書カードを支給

「自分で選び、手元に残る本」を全ての小・中学生へ！

本に触れることは

🎓 学力・語彙力の土台となる

読書量の多さは語彙力・読解力・文章理解力と強い相関があり、全教科の学力に波及する

💡 「自分で選ぶ」体験が
主体性を育む

書店で自ら本を選ぶ行為は、興味関心を広げ、主体的な学びの姿勢を育てる。

👉 家計を支え、読書機会の格差を防ぐ

▶ 物価高騰下でも家庭の経済状況に左右されず、等しく本と出会う機会を届ける。

